

人間発達学部

子ども発達学科教授 古川 美枝子

1. 研究活動

a 演奏会・展覧会・競技会等の名称・著書・論文・作品等の名称（項目ごとに記入する）	b 発表または発行の年月日	c 演奏会・展覧会の会場・主催等または論文等の発行所・発表雑誌等の名称	d 発表・展示・作品等の内容等・論文概要等（共著の場合のみ編者・著者名を記入）
音楽療育の試み －親子の活動－	2010. 5	「日本保育学会」第63回大会 松山東雲女子大学・松山東雲短期大学	音楽療育を行っている心身障害児通園施設では母子での音楽活動を行っている。2歳から参加する機会が多く、母親が子どもの障害を受容していく経過を音楽活動をとうして考察した。
小学校での教科「音楽」について（継続研究）			小学校での教科「音楽」の内容を分析し、生徒への指導においてどのような音楽知識や音楽演奏技術が教師に必要なのか、またそれを修得するための方法を考察する。

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 有 無

f 教育内容・方法の工夫および作成した教材・資料等	g その他教育活動上特筆すべき事項
授業科目 音楽実技Ⅰ ◆前期 ◆後期 工夫の概要	
「音楽実技Ⅰ」ピアノの授業において、大学に入学して始めて学習する学生の教材を用意する。特に左手の和音や分散和音での指使いの定着が、右手をスムーズに使うために必要と考えられる。そのための学習教材を作成し指導した。	
ゼミナールⅢの授業における「手作り楽器」をテーマとした授業展開では、実際に子どもに作らせたり、作った楽器で演奏する指導をする等の体験的学習を用いた。 ゼミナールⅢの授業における音楽学部マネージメントコースとの共同授業	
教材・資料等の概要 主要三和音（Cdur）の音構成と指使い一覧表の作成。「聖者の行進」「ちょうちょう」「ミツバチのマーチ」の楽曲を使った和音伴奏と分散和音伴奏の教材作成。 子ども達にわかり易い「手作り楽器の作り方」の作成。体験の場での、準備・内容・進行方法・撤収方法などの行程表の作成。参加者へのアンケート調査用紙の作成を行った。	

3. 学会等および社会における主な活動

h 学会等の名称	i 活動期間	j 活動概要その他
日本音楽療法学会東海支部役員	2010. 4～2011. 3	学会支部の運営
北名古屋市立母子通園施設ひまわり園（療育保育）	2010. 4～2011. 3	ひまわり園で療育保育の一環として「音楽療育プログラム」を保育士と共に実施した。母子療育では、年間12回、子ども単独療育では年間2回行った。
小牧市立三ッ淵小学校のノーテレビ・ノーゲーム運動体験講座 講師	2010. 6. 24	小学校1年生～6年生を対象に音楽関係の講座として、ボディーパーカッションの指導を行った。

小牧市立三ッ淵小学校のノーテレビ・ノーゲーム運動体験講座 講師	2010. 10. 30	小学校1年生～6年生を対象に音楽関係の講座として、ボディーパーカッションの指導を行った。
春日井市子育て支援講座 講師	2011. 1. 20	春日井市が実施する子育て支援事業で開催した講座で、未就園児の親子を対象に、「親子のリズム遊び」をテーマにした実践活動を行い、子育ての楽しみ方を紹介した。